

おおぞら 議会だより

CONTENTS

予算審査特別委員会

新年度まちの予算をチェック!.....4

議員4名が一般質問7

- ①後藤議員 両福祉会との今後の関わりについて
- ②上地議員 東藻琴芝桜公園の管理について 他
- ③三條議員 新型コロナウイルスへの感染予防対策について 他
- ④松田議員 障がい者(児)のライフサイクルにおける支援のあり方について 他

議会報告会・町民との意見交流会を開催14


No.56
OZORA
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和2年(2020年)5月29日

大空に
人花心
育むまち



目に見えない新型コロナウイルスの感染拡大で、不安に包まれています。大空町にも春が訪れました。明るい未来が必ず訪れることを信じ、この困難を乗り越えましょう。

(4月30日撮影)

一般会計1億2,636万円減額補正

総額88億6,863万円に

令和2年
3月定例会
3月5日~12日

大空町議会3月定例会は、令和元年度一般会計補正予算などの議会側議案を審議しました。

また、令和2年度予算が提案され、「予算審査特別委員会」を

補正議案、専決処分の承認や条例制定議案、

設置し、審議を行いました。

移住・定住までを ワンストップで総合的にサポート 移住・定住支援室を設置

専決処分の承認

故吉田禮元氏（名誉町民）ご逝去に伴う町葬費の専決処分が報告され、承認しました。

人事案件

人権擁護委員に鎌田宏博氏、河崎琢哉氏、坂巻重子氏が推薦され、適任と答申しました。

また、教育委員会委員に神田靖治氏が任命、監査委員に近藤克郎氏が選任され、同意しました。

財産の無償貸付け

農業用排水路等の維持管理を行う地域の負担軽減を図るため、農作業用トラクターを引き続き、大空町広域協定運営委員会に無償貸付けすることについて、可決しました。

条例の制定・一部改正

印鑑登録条例など9条例の一部改正、豊住交流センター条例など3条例の制定について、可決しました。

課設置条例の一部改正

移住・定住支援室の設置にあたり、町長の想いを伺いたい。



庁舎3階に新設された移住・定住支援室

町長

人口減少、高齢化が進んでいます。大空町の素晴らしさを全国にPRし、多くの方が大空町で住んでみたいということにつながる努力をしていかなければならないと思います。ワンストップで対応できる部署が必要と考え、支援室を設置することに至りました。町の活性化のために働くスタッフを配置し、まちづくりに取り組んでいきます。

東藻琴生涯学習センター 条例の一部改正

研修会館2階に展示している開拓資料や埋蔵文化財が生涯学習センターに移ってしまふと懸念されている方もいるので、住民の皆さんによく伝えながら、検討いただきました。

各会計補正予算

令和元年度各会計の補正予算について審議し、可決しました。

網走刑務所住吉作業所用地活用事業

委託料を減額した理由を伺いたい。

総務課

民間事業者からどういった事業が可能かなどの情報や意見をいただき、それを踏まえて事業の公募方針等を策定していったほうが効果があるという判断から業務委託を取りやめたため、減額となりました。

三條議員

民間業者から、情報や意見等の声が出てきている状況にあるのか。

総務課

現在、情報提供をしているという状況であり、数社から情報提供を検討していると連絡や問い合わせがあります。期間は、3月9日まで

生涯学習

研修会館の埋蔵文化財の石刃は700点以上あり、生涯学習センターでは全部展示できない状況です。美幌や斜里の学芸員に相談しながら、効果的な展示をしたいと思っています。

生涯学習

閉校にあたり、幼稚園としての活用が検討されましたが、距離が遠いという保護者アンケートの結果から、幼稚園としての利用はなくなりませんでした。その後、活用方法を検証してきましたが、特に定まらず、社会教育施設として現在まで活用してきました。

総務課

住吉作業所用地と豊住交流センター



利活用を検討中の住吉作業所用地

産地生産基盤パワーアップ事業

となっており、その後、提出いただいた企業と調整し、了承いただきながら町民の皆様や議会にご説明する機会を設けさせていただきます。

三條議員

補助金7千580万9千円の事業の内容を伺いたい。

産業課

JAめまんのつが既存の倉庫を活用し、てん菜種子乾燥施設を整備する事業に対する北海道からの補助金です。この施設は、種子の生産に係る労働の削減、生産性の向上を図る目的で整備されます。

三條議員

校舎跡地に企業や工場を誘致という考えもあるかと思うが、どのような働き掛けしたのか。

町長

跡施設の利用について、企業誘致といった具体的な動きをしたことはありません。今回条例化し、公の施設と位置付けますが、部分的に貸し出す余地も残り、今後、考えていきたいと思っています。



町民や町外者との交流の拠点として活用する豊住交流センター

一般廃棄物最終処分場管理運営費

木屑破砕機の稼働状況は。

三條議員

最終処分場で数年前から保留していた木や枝、直接搬入される木や枝、公共施設の木などをフル稼働して処理しています。

物品の購入

昨年10月に故障したスクールバス更新のため、29人乗りマイクロバスを購入することについて、可決しました。

決議

アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現と北海道が魅力ある大地であり続けるため「民族共生の未来を切り開く決議」を採択しました。

要望意見書

道立網走高等看護学院の存続を求める要望意見書を採択しました。



商店街の賑わいが望まれる

中小企業振興資金融資を受けるまでどれぐらいの期間がかかるのか。運転資金は明日にでも欲しいという方もいると思う。困っている地元企業を助けるため、早期にできる限りの支援をしていただきたい。

上地議員

今後管理していく事業者にも、その趣旨を伝えます。

町長

この条例改正だけでは十分ではないと承知しています。第2弾として、迅速に対応できるように考えています。

町長

目的としては福祉施設ですが、町の賑わいといった考え方からも、この施設を上手に活用していかなければならないと考えています。

地域福祉センター条例の制定

三條議員 地域福祉センター（網走信金旧女満別支店）を西通りに設置する意義、役割を忘れることのないよう、施設の運営にあたる指定管理者に伝えてほしい。

産業課

金融機関や保証協会の審査、役場内部での確認があり、早ければ2週間程度かと思いますが、早期の貸付実行ができるように対応してまいります。

新年度まちの予算をチェック！

～令和2年度 予算審査特別委員会～

新年度予算 総額 126億 2,255万円 を可決

令和2年第1回定例会に提案された令和2年度大空町各会計予算は、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議しました。

審議の結果、提案内容のとおり可決すべきものと決定し、議員全員の賛成により可決されました。本特別委員会での総括質疑・答弁の概要をお知らせします。

※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPの「会議録」をご覧ください。
※歳入、歳出予算の内訳、主な事業内容などは、広報おぞら4月号をご覧ください。

◎一般会計歳出

認定こども園整備事業

二條委員 今後のスケジュールと発注の考え方を伺いたい。

高校・認定こども園推進事業

女満別地区の認定こども園は昨年10月に工事着工、今年8月に完成し、10月からの開園となっております。

東藻琴地区は今年4月に実施設計、10月に建設工事の着工、令和3年10月から開園のスケジュールで進めています。

社会福祉協議会が事業主体となり、女満別地区においては、簡易公募型指名競争入札で執行しています。



建設中の認定こども園（女満別地区）

町民自治推進委員報酬

二條委員

大空町自治基本条例の見直しを検討しているのか。

総務課長

令和2年度、条例の見直し等について委員会に諮問することになっており、答申を受けた内容を踏まえ、条例の改正を検討していく予定となっております。

地域情報通信基盤整備推進事業

二條委員 今後のスケジュールを伺いたい。

民設民営の場合、利益が出ないと中止となることは想定されるか。

総務課長

現在のところ7月に工事が開始、令和3年3月までに完了し、その後、住民向けの加入案内を予定しています。事前の加入申込みで一定の目的が立ち、民設民営に影響はないと想定していますが、住民の方へ加入促進を続けていきます。

原本委員

7月の工事後は、各戸への接続が随時可能なか、または全体の回線網が整備されてからの接続となるのか。

町長

民設民営ですが、国の補助事業を活用して行うということで、国から供用開始の時期が示されると思っています。

原本委員

各戸にプロバイダー各社からAPIがあると思うが、契約方法等の説明書きを町で用意できないか。

総務課長

町が会社にとって説明することはできませんが、何らかの情報提供はできるかと思っています。

国際教育交流・外国語指導推進事業

二條委員

外国語指導助手には、地域との関わりを深めていただきたい。生涯学習課長 現在までも英会話サークルや地域行事への参加をお願いしていました。



パンダ外国語指導助手

現在、女満別地区に配置となっている外国語指導助手は、太鼓サークルにも参加いただいているが、今後さらに活躍の場を作っていければと思っています。

高校魅力化推進事業

二條委員

高校魅力化プロジェクト業務は、委託で本場に良い形のものが見えてくるのか心配する部分がある。これまでお願いしているところに委託をするのか。

高校・認定こども園推進事業

今年度は、プリマペンギンという会社に「公設塾の設置運営に関する業務」と「高校魅力化に関する業務」を委託しています。

公設塾全般に関わる運営支援、公設塾スタッフの研修、教育内容に関する総合的なマネジメント、高校魅力化に係る地域との連携方法などについて支援いただいております。新年度も開校に向け、引き続き委託をと考えています。
二條委員 公設塾は現在、どのような運営をされているのか。

高校・認定こども園推進事業

昨年9月にプレオープンした公設塾は、女満別高校と東藻琴高校の校舎の中で開設しています。大空町の高校の魅力を高め、町内外から生徒の確保を目指すこと、生徒の基礎学力・進路目標の実現、社会で必要となる資質・能力を育成することを目的として取り組んでいます。

◎総括質疑

除雪業務について

後藤委員 オペレーターの負担軽減や自損事故の軽減、効率的な除雪作業に向けて、GPSで除雪車の位置情報や作業実績を確認できる除雪車運行管理システム導入の検討が必要ではないかと考えるが。

建設課長

現在は、除雪センターに配置した職員が無線を使って位置や進行状況を確認し、除雪の指示を出しています。運行管理システムの導入により、どのようなことができるのか、費用を含めた形で検討したいと思います。

感染症対策について

上地委員 全国芝桜フォーラムin大空町は多数の方が訪れる可能性があり、万全な感染症対策を願いたい。

町長

新型コロナウイルス対策は、長期戦になることが想定されています。芝桜公園管理公社と連携を取り、対応していきます。



デジタルホワイトボードを活用した遠隔授業

中小企業対策について

上地委員

北見市は金融機関に対し、コロナウイルスの影響を受けている企業の融資返済猶予に関する要望を出しているが、大空町も同様の要望を行う考えはあるか。

町長

金融対策の緩和など、金融機関としての取り組みに対する要望を考えています。

100年事業について

上地委員 旧女満別町が網走市から分村して100年を迎えるため、記念事業の実施が予定されているが、町長の想い、考えなどがあれば伺いたい。

町長

平成2年の女満別町開基100年記念の際には、町民ビッグデーや町民運動会、NHKの自慢、タイムカプセルの埋設など、さまざまな事業を展開しました。今回もそれぞれの職員が、日行行なわれる自分の仕事とは違った形の中で携わることになるかと思っており、それが職員の成長につながることを期待しています。

オホーツクについて

田中委員

地域の魅力を国内外の多くの方々に知っていただき、観光、物産、移住定住など地域活性化に繋げるためのイメージ発信事業である、オホーツクの効果を生かしたい。

町長

オホーツクイメージ戦略推進委員会の会議では、まだまだ大空町の認知度は低いですが、3年前から見ると高まっているという状況報告がありました。一定程度のオホーツクを売り出すことにはつながったのではないかと考えています。

公金の運用について

齋藤委員 必要な範囲で基金を運用し、少しでも予算に反映していただきたい。

町長

財政状況が厳しい中、公金の運用というものはどうあるべきか、考え方をまとめていくことを組織として行っていきたくと考えています。
備品の購入について
松岡委員 認定こども園で使用する備品の購入

は、地元発注とするよう

町長

社会福祉協議会に対し、申し入れ願いたい。

町長

認定こども園の発注に係る事業主体は社会福祉協議会にお願いしています。仕切り方は町の手法に準じると思いますが、しっかりと申し伝えたいと思います。

移住・定住対策について

深川委員 移住・定住は、全国的な課題であるが、見込み目標を設定しているのか。

町長

社会的増減がプラスマイナスゼロ以上というところを目標に掲げながら、ほかの地域から移り住んでくださる方々を増やしていきたいと考えています。

外国人労働者の受け入れ

深川委員

外国人実習生の東藻琴地域居住が決まっているが、自治会などとの連携はどうなっているのか。

町長

北海道畜産公社やJAオホーツクが外国人実習生の受け入れを行い、町も住居の支援、



町政懇談会（女満別中央自治会）

一般質問



しのぶ 忍 議員
ごとう 後藤

介護現場の作業効率化として、センサーや見守りシステムの導入が急速に進んでいます。今後進んでいく技術革新に柔軟に対応するためにも、経営基盤の強化が一層求められると考えます。

今後、両福祉社会が進むべき方向は？ 町長▼統合によるスケールメリットも必要と考える

問 大空町の年齢別人口推移は、令和7年に65歳以上の老年人口がピークに達し、今後、支援ニーズの多様化がさらに高まることが予想されている。

合計60床での運営となっています。また、建築から25年以上経過していることから、建物や設備などに課題があると推察しています。

問 平成24年度と28年度に行われたコンサルタント調査は、どのような内容が伺いたい。

検討させていただいたものです。内容については、両法人に説明をさせていただき、併せて、統合についての協議をお願いしましたが、進展がないことから、平成27年11月に私と両福祉会の理事長三者で会談させていただき、統合の必要性を伝え、協議の再開をお願いしました。平成28年6月に両法人に対して要請書を提出し、9月に介護基盤の充実強化支援業務を発注し、平成24年度に実施した報告書をベースに経営分析、経営の見直し、経営基盤充実の必要性等を整理したところですが、この内容結果につきましても説明し、協議をお願いしたところです。

問 地域包括ケアシステムの確立に向け、町と両福祉会の今後の関わり方は。

大空町となり、統合の協議をお願いしてきました。近年、高齢化の中で介護の現場においては、困難なことも多くあると思えますが、その対応のためには、スケールメリットを活かすということが必要であると考えます。

町長 女満別ドリーム苑は、平成6年に30床で供用開始、平成20年に増床し、合計60床での運営となっています。また、東藻琴福寿苑は、平成4年に30床で供用開始、平成30年に増床し、



平成6年供用開始の女満別ドリーム苑

町長 平成24年度に実施した調査は、法人合併支援業務として町が業者に委託し、課題の整理、解決のための方策、将来の法人のあり方等を

日々の状況が変わる中、地域の医療機関、介護機関に対する支援も検討するよう、担当に指示をしています。

国の方針として固定資産税等の猶予や減免といった発表があり、町としても使用料等の減免について、現在作業を進めています。さらに国、北海道が連携し、休業補償を実施しています。そこに町で上乗せする方針は持っていないが、新型コロナウイルス対策は長期化するという報道もあり、そういったときには町としても努力していかなくてはならないと考えています。

また、電話や訪問などにより制度を周知し、高齢者や障がい者が、給付金を貰える権利を逃すことのないように対応したい。



平成4年供用開始の東藻琴福寿苑

誤りや漏れのない支給体制を作り、迅速な対応を目指したいと考えています。

参事 令和2年4月27日に大空町の住民基本台帳に登録されている住民が対象となります。給付事務に必要なシステムの改修後、5月中旬に申請書を世帯主に発送し、申請受付後、順次振込みを行います。

議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。

議会のインターネット中継・録画映像のお知らせ

3月臨時会 一般会計補正予算 新型コロナウイルス感染症 経済対策事業に400万円を追加補正

3月30日に開催した第1回臨時会では、補正予算、条例改正の審議を行いました。

一般会計補正予算
新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、町内事業者の経営安定に向けた緊急経済対策として、商工会が行う商品券事業に対し、支援することが必要であると判断し、可決しました。

◇飲食店応援商品券事業 補助金 100万円
◇プレミアム商品券事業 補助金 300万円

条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、経営に影響を受けているメルヘン観光交流センター内の店舗への支援策として、使用料の徴収猶予や免除措置を条例に規定することについて可決しました。

産業課長 他にもありますが、この施設のみ、条例に猶予等の規定がなく、改正するものです。

4月臨時会 一般会計補正予算 新型コロナウイルス感染症経済 対策事業等に9億359万円を追加補正

4月27日に開催した第2回臨時会では、条例の専決処分、補正予算等の審議を行いました。


一般会計補正予算
新型コロナウイルス感染症拡大による事業者への影響を考慮し、経営の安定化を図る一環として、住居リフォーム促進事業補助金、起業化支援事業補助金、大空町商工業持続化支援事業補助金などのほか、1人につき10万円を給付する国の緊急経済対策に係る事業費などの追加補正予算を可決しました。

町長 日々状況が変わる中、地域の医療機関、介護機関に対する支援も検討するよう、担当に指示をしています。

三條議員 社会福祉法人も通所事業が休業となり、大きな減収となっているが、支援を考えているか。

三條議員 特別定額給付金10万円の給付までのスケジュールを伺いたい。

町長 誤りや漏れのない支給体制を作り、迅速な対応を目指したいと考えています。



議会インターネット中継・録画映像のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。

一般質問



さんじょうゆき お
三條幸夫 議員

新型コロナウイルスの影響で世界中大変な思いをされています。当分の間、規制が続くと思いますが、免疫力を高め健康に過ごしましょう。

TPP・日米貿易協定による農業への影響は

町長▼国の様々な事業を活用し対策を講ずる

問 TPP・日米貿易協定が締結され、さまざまな影響が起これるが、現時点で想定される、大空町農業への影響と対策について伺いたい。

町長 TPPはアメリカ離脱後にTPP11となり、2018年12月30日に協定が発効となっています。

また、日米貿易協定については、本年1月に発効となり、発表ではTPP協定を超えた内容にはなっていませんが、海外から安い農畜産品などが輸入されることから、農業への影響が心配される場所です。小麦は、価格の低下や

経営所得安定対策財源の減少が考えられ、牛肉は、特に競合する乳用種や交雑種を中心とした価格の低下が大きな課題かと思えます。豚肉も同様です。バター、チーズの乳製品等も同様であり、いずれの作目、産品にしても、価格が低下する可能性があることから、生産意欲の低下に繋がることを恐れているところです。

国では、スマート農業の導入、担い手の育成、畜産施設の整備、機械の導入、さらに肉用牛、酪農経営の増頭、増産などの支援が進められています。町の考え方としては、国の様々な対策事業をしっかり活用することが必要だと思っています。

問 J Aと連絡を密にし、農業の進むべき方向を間違わないよう進めるべきだと考える。小規模農業経営者の収益力を高める作物を、行政が主導権を握って取り組んできた経過も過去に



輸入と競合し、価格の下落が心配される

はある。世界情勢を見ながら、必要なときは先行投資するなどの取り組みが必要だと思ふ。

町長 J Aとの協力関係はなくてはならず、過去には和牛や玉ねぎ、花卉なども町とJ Aが一緒に普及にあたってきました。ビーンズファクトリーや光ケーブルの敷設などは、町が主導的に行っています。進めながら協力をお願いしています。町として、しっかりとした考

問 周辺では、新しい作目にも目を向けて取り組んでいる事例もあるので、メルヘンカルチャーの温室ハウス等を利用して、この地域に適した作物はないのか取り組むことが必要と思ふ。

町長 メルヘンカルチャーセンター、東藻琴高校などを活用して、体験・試験農場的に使う可能性はあるのではないかと思います。長いものの機能性の活用などの取り組みを行っており、さらに新しい分野についても目を向けてまいります。

TPP11と日米貿易協定

11ヶ国による「環太平洋パートナーシップTPP11協定」と「日米貿易協定」は、貿易を強力かつ安定的で互恵的な形で拡大するため、一定の農産品及び工業製品の関税を撤廃または削減するもの。

新型コロナウイルス・経済等の町の対策は

町長▼予防策の徹底と経済対策等しっかりと対応する

問 新型コロナウイルス感染症予防対策について、大空町としての対応を伺いたい。

町長 チラシやメール配信等により、手洗いなどの予防策の徹底と、発熱や風邪症状がある場合は、仕事や学校を休み、外出を控えることなどを情報提供しています。

問 公共施設のトイレへの自動センサー手洗いの設置等、改善すべきところが身近に多々あると思ふ。

町長 手洗い等の洗浄対策は、自動化していくべきだと思います。国は2月13日に中小企業者への支援として、資金繰り対策を重視した別枠での融資、また雇用調整助成金を活用した支援策を発表し、北海道も融資制度を設けました。町も、中小企業振興資金の別枠の運転資金を融資できるように検討中です。

問 高齢者の中には、情報が伝わりにくい方も相当数おり、複数回にわたり伝えてほしい。また、家に閉じこもって筋力が低下しないよう、健康へのアドバイスが必要だと思ふ。

町長 特に高齢者の方々の体調異変を把握することが大切であり、そういった方々への情報伝達には、しっかりと対応してまいります。

問 町内の河川で、雑木等の繁茂により、大雨時に氾濫し、流域に影響を与える箇所はないか。また、国や道、町が管理する河川の状況を伺いたい。

町長 町内の河川は、国海道管理がサラカオマキシン川、トマップ川、パナクシユベツ川、女満別川、黒瀬川、藻琴川です。

町長▼町の管理河川は数カ所あるが災害時に対応

河川で大雨時に氾濫し、流域に影響を与える箇所は

町長 町の管理河川は、北海道管理河川の上流部などですが、土砂の堆積、雑木の繁茂により、排水機能が低下しています。その他にも未整備河川が多く、降雨時や融雪時に河岸の決壊による被害が多くなっています。維持管理以外の河川工事は、災害時に災害復旧事業で対応しているものがほとんどといった状況です。

町長 先日、網走川流域の大規模洪水対策として、北海道開発局や流域市町の7機関でビジョンをまとめました。河川への負荷を下げるため、排水路はどうすべきかを決めて取り組みしていきます。

町立学校等は、春休みまでの期間を臨時休校とし、また、一定条件のもと、預かり保育等の対応を行います。

町も、中小企業振興資金の別枠の運転資金を融資できるように検討中です。



マスク着用で開催した定例町議会

網走川では、河川整備計画に基づき、河道掘削や雑木伐採などの維持が行われています。さらに内水対策として、本郷排水機場及び排水路の機能向上工事が今年度で完了します。

問 大雨が降って決壊や氾濫しそうな箇所を重点的に点検し、周辺に影響がないよう努める必要があると思ふ。



雑木が繁茂する女満別川

一般質問



まつだのぶゆき
松田信行 議員

令和2年度は、8名の新規職員が採用されました。大空町職員として、また地域人として活躍を期待します。

問 障がい児、障がい者のライフサイクルにおける支援のあり方について、幼児期、学齢期における特別支援教育の現状を伺いたい。

警 特別支援学級に在籍する児童数は、女満別小学校、東藻琴小学校2校で19名、女満別中学校と東藻琴中学校合計で15名であり、年々増加の傾向が見られます。

このため、本年度は町独自に補助教諭を4名配置し、教育内容や支援の充実に向けています。通級指導教室は、平成25年4月に北海道教育委員会から女満別小学校への設置が認められ教室を

開設し、東藻琴小学校については、女満別小学校の通級指導担当教員が週5日、巡回指導にあたっています。開設当初は16名でしたが、現在は両小学校合計で60名と増加しています。

中学校でも通級指導体制の整備が必要と感じているところですが、オホーツク管内では北見市の中学校1校のみしか、開設されていない状況です。町内の中学校におきましては、チームティーチングなど、複数教員による指導方法を活用し、個々に応じたきめ細かな対応を図りたいと考えています。



ちあふるで行なわれている就労継続支援B型事業

学校の連携としては、学校教育委員会、町福祉部局による特別支援連携協議会において、教育相談員が中心となり、連携した支援体制の構築に努めています。

なお、未就学児12名が網走市の子ども発達支援センターでの活動に参加

しています。教育委員会としては、教育相談員を中心として、児童発達支援センターとの連携や情報共有に努めてまいります。

問 学齢期における放課後の居場所の確保について伺いたい。

町長 保護者や関係者からは、町内に設置してほしいという話も伺います。設置するためには、場所、また設置者の選定、利用者のニーズの把握といった課題がある

問 ちあふるは、展開の拠点だと認識しているが、利用者及びニーズが増えれば女満別地区にも展開の場が必要ではないか。

町長 大空町内で2棟建てにはいたくなく、距離的な問題から、就労を事業として行っていく場合の事務的拠点といったものは、要望としてはあるだろうと考えています。町内のニーズや考え方をまとめながら進めていきたいと考えているところです。

障がい者(児)の支援体制は 教育長▼教育相談員が中心となり 体制を構築 町長▼ニーズを取りまとめながら 進めたい

議会の傍聴はお気軽に!
◆定例町議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴にお越しください。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
6月定例会は、**6月18日(木)** から開かれる予定です。

今後の地域担当制度の役割は

町長▼職員の意識調査などを行いなから取り組みたい

問 地域活動の活性化及び行政運営の円滑化を図ることを目的として地域担当職員制度を導入しているが、これまでの取り組み状況と評価、検証について伺いたい。

町長 合併直後、町民の顔を覚える、町民の方に顔を覚えてもらうというところから制度化したもので、導入してから12年が経過し、効果の検証が必要なた時期になったと考えています。

の制度に対する意識や負担感などを検証し、廃止も含めた見直しを検討しなければならぬと考えています。

町長 これからいろいろな立場で町政を担っていく若い職員も、これから管理職になっていく職員なども含めて、育成をしていくということは大変なことであり、地域の方々、町民の方々と色々な会話を通じて、コミュニケーション能力を養う、さらには、政策立案に向けての地域の課題というものを、自分として受けとめていくことが大切になるのではないかと考えています。

問 網走市と大空町において、平成23年に定住自立圏形成協定が締結され、令和3年には第3次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンが始まるうかと思うが、これまでの取り組み状況と課題について伺いたい。

町長 ビジョンは、これまでの取り組みとして、救急搬送における体制整備、網走厚生病院における脳神経外科の開設、観光分野では体験型の旅行を企画し、民間企業と共同のイベントを開催、国内外の航空会社や旅行会社への誘致活動、産業分野では長いもの販路拡大、新たな機能性商品の開発、環境に関しましては、網走湖、網走川や藻琴川の保全活動、生活排水の共同処理、使用料の割り増し規定の適用除外、職員の合同研修も

問 今は大空町と網走市で圏域を結んでいるが、もっと大きなエリアで考えていくべきではないかと思う。共生ビジョンの懇談会でも、これからの圏域のあり方ということも題材にして検討していただきたい。

町長 定住自立圏も、今の1市1町だけでいいかということになります。さらに広範囲の中で、いろいろな事業が考えられるのでは



地域担当職員も参加した大東農民休日祭

自治会の皆さんに制度の趣旨をお伝えし、一方で行いながら、この制度の見直しに向けて取り組んでみたいと思います。

町長 実施しています。一般廃棄物の処理や水道事業などにおいても、広域的な取り組みを検討すべき課題と捉えているところです。



斜網圏域で取組んだ網走厚生病院脳神経外科の開設

議会報告会・町民との意見交流会を開催

大空町議会の活動内容を報告するとともに、町民皆さんと「まちづくり」について語り合う『令和元年度 議会報告会・町民との意見交流会』を2月8日に開催しました。

21名の方の参加をいただき、たくさんのご意見等をいただきましたので、主な内容をお知らせします。

◆議会報告会の部【前半】（3常任委員会からの報告）

- ◇網走信用金庫旧東藻琴支店の改修工事及び駐車場整備の進捗状況について
- ◇女満別研修会館・ゲートボールセンターの利用状況及び管理運営について
- ◇のんきっず館の利用状況について ◇合同納骨塚の利用状況について
- ◇議会広報について など

●意見交流の部【後半】

- ◇自由に意見交換を行いました。



主な質問・意見等	議会側の回答
●土地を借りて畑を作っていますが、元々の母屋と倉庫がかなり荒れています。不在者地主で、なかなか連絡がとれないのですが、解体する方法を考えていただければと思います。	◆町では、空き家対策の計画を新たに策定する準備に入っています。どのような対策があるのか、町の担当課に内容を伝えておきます。
●新しいゴミ処理場はどこにできるのでしょうか。	◆新しい最終処分場は、どこに建設するかということも含めて検討している段階であり、まだ決まっていません。
●最近では農業もコンピュータを使い、クラウドの世界でデータを分析しています。これから農業を支えていく中で、光ブロードバンドは大切なものであり、1日でも早い整備をお願いします。	◆情報通信整備は、特に農業分野での話がされていますが、介護や福祉、教育分野でも必要なものだと考えています。周りの合意形成、想いの通じた形での事業展開となるよう、ご協力いただきたいと思います。
●合同納骨塚の利用は、現在どのくらいあるのですか。	◆12月末現在では、生前予約2件、改葬焼骨埋蔵が4件で11体となっています。
●東藻琴でイチゴの栽培をしていますが、採算がとれているのですか。	◆イチゴハウスは、毎年、300万円程度の赤字を抱えており、委員会としても問題視をしている施設の一つです。このまま続けていくのか、考えなければならない時期にきていると思っています。
●イチゴハウスを作る際は、「大空町に珍しいものを」と頑張ったんだと思います。その想いが力尽きてしまったのなら仕方ないですが、想いがある人がいるのであれば、考えてあげることも必要ではないかと思っています。	◆そのような考え方もあるかと思いますが、今の時点で話はありません。そういう時期にきている判断を議会としても行ったということです。
●イチゴハウスは今後、違うメニューでいく考えはありますか。	◆何をやったら良いかは、まだ決まっていないと思いますが、新しい方法を考える時期ではないかと、行政側に申し入れをしています。
●福祉、介護を取り巻く環境は厳しくなり、福祉会の体制強化を進めていくことも考えています。議員の皆さんからもアドバイスをいただきながら、取り組んでいかなければならないと思っています。	◆福祉は人材の確保の問題を含め、幅広い分野での課題を突きつけられており、本当にご苦労なことが多いと思います。さまざまな協力を持って、対処していかなければならないと思っています。
●町の予算を全体的に20%圧縮すると聞きましたが、主にどの辺の予算を削られるのですか。	◆議会としては、現時点では予算の中身や内容は一切報告を受けていません。これから予算委員会が始まり、審査していくことになります。

主な質問・意見等	議会側の回答
●商工会東藻琴支所の近くに新設した駐車場は、停めても良いのでしょうか。	◆商工会や道の駅利用者に使用していただくため整備したものです。すでに完成し、使用可能となっています。
●空港民営化により乗降客も増え、女満別空港線も今まで以上に車の通行量が多くなると思います。店舗を新たに開設したいという方も出てくると思いますが、土地利用の青写真作成に動き出したほうが良いのではないかなと思っています。	◆ここ数年、大型店舗などができ、女満別市街地区の様相も少し動きが出てきていると、皆さんも感じていると思います。空港民営化に伴い、今後動きが出てくることは間違いありませんので、状況を踏まえた中で、取り組んでいきたいと思っています。
●農協懇談会で、駅前の石蔵倉庫は将来的に解体するという計画があると聞きました。耐震上、危険性の高い建物であるという説明でしたが、農協だけではなく、町全体の問題として、文化財的な評価というものを見てみてはどうでしょうか。	◆大空町に建物の文化財はなく、施設を残すことは有意義なことだと思いますが、耐震費用がどれだけ掛かるのか、何を目的として残すのか、文化財というだけで残して良いのか、今の段階で答えはできませんが、ご意見があったということを町側に伝え、議会の中でも具体的な考えが出れば町側に示したいと思っています。
●女満別住吉地区の刑務所作業所用地は、将来的には大空町で譲渡を受け、町として何かできるのか、それとも法務省と連携をしていかなければならないのでしょうか。	◆当初は町で購入して、事業展開を考えていましたが、現時点では共同で事業を進めていこうという形になっています。
●旧豊住小学校の施設、隣接している保育所もいずれはなくなります。活用する方法を検討していただきたいと思っています。	◆旧豊住小学校を含め、刑務所作業所用地を利用して何ができるのか、民間事業者に提案してほしいという段階です。まだ事業展開は白紙の状態ですが、作業所用地や学校敷地を見に来ている企業もあると聞いていますので、何らかの声が上がってくるだろうと思っています。

Voice 声 町民の

色々な事の

共有が必要



かわにし みか さん
(大空町自治会女性部連絡協議会会長)

大空町自治会女性部連絡協議会執行委員として数年、今までとは違う形で、色々な行事、会議等に参加する事も多く、色々な人と話す機会がありました。

そのような中、自治会の高齢化が進んでいる事、子供の安全対策等々、私には気づかない事もありました。

また、これからできる認定こども園・新高校に期待する声もたくさんあります。

議員・行政の皆様にも、色々な行事等々に一町民として参加していただき、たくさんの町民の声を聴いて、色々な事を共有しあい、議会・行政・町民が協力しあえたら、今まで以上に安心して住み良いまちづくり、笑顔で暮らせるまちづくりができるのではと思います。

これからも期待しています。よろしくお願ひします。



大空八景

朝日ヶ丘公園に町民の寄附で設置された「幸福を呼ぶ鐘」。美しい音色が多くの人に安らぎを与えてくれます。(三條撮影)

Cafe & Bar
E N O N
—エノン—

～人と人との繋がりを大切にしたい～
ここで培ったご縁やご恩を育む空間を作りたい～

この度4月17日に東藻琴にて正式オープン致しました。居酒屋メニューを揃えたBarで、当面は夜営業のみとなります。
現在はコロナの感染拡大防止の観点から自粛(休業)としておりますが、今後ともよろしくお願ひします。

Cafe&Bar E N O N
大空町東藻琴333番地 電話 0152-67-5200

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

新緑が目にしみて、さわやかな季節となりました。

早いもので、広報委員として9回目の編集作業に携わりました。議会の活動状況を分かりやすく、かつ、具体的に的確に伝える事は難しいもので、どの様な紙面づくりが良いのか委員同士いろいろな意見を出し合いながら進めています。ご意見などがありましたら是非お声掛けください。昨今、新型コロナウイルスの影響で外出を控えなければならず、気分転換のしづらい状況ではありますが、改めて大空町の花鳥風月を感じてみたいと思っています。

(後藤)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 近藤哲雄(発行責任者)
委員 長 深川 昇
副委員長 上地史隆
委員 田中裕之
委員 三條幸夫
委員 後藤 忍

今後ともよろしくお願ひいたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第56号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

